

シリーズ最高の面白さ!

★ スーパーマン50周年記念超大作 ★

◆ スーパーマン映画史上最強の敵が出現!  
——いよいよスーパーマン最後の時が近づく!!



# SUPERMAN IV THE QUEST FOR PEACE

# スーパーマン4

## 最強の敵

クリストファー・リープ・ジーン・ハックマン・マーゴット・キダー  
マリエル・ヘミングウェイ・マーク・ゼロー・"ニュークリア・マン"  
製作: メナハム・ゴラン ヨーラン・グロバス ◆ 脚本: ローレンス・コナー マーク・ローゼンタール  
ストーリー: クリストファー・リープ ローレンス・コナー マーク・ローゼンタール ◆ 音楽: ジョージ・リリアムス  
監督: ジョージ・リリアムス ◆ キャスティング: ジョージ・リリアムス ◆ 編集: ジョージ・リリアムス ◆ 美術: ジョージ・リリアムス  
© 1987 DC COMICS INC. ALL RIGHTS RESERVED.

DOLBY STEREO

CANNON

© 1987 DC COMICS INC. ALL RIGHTS RESERVED.

# スパマン4 最強の敵

## スーパーマンの歴史!

1935年 大恐慌以来の不景気が続くオハイオ州クリーブランドで、そこに住む少年ジェリー・シーゲルが《鋼鉄の男》を主人公にしたコミックのアイデアを思いつく。そして、シーゲル少年は友人のジョー・ジャスターの力を借りてコミック化。ここに、アメリカ最大ともいわれたヒーロー、スーパーマンが誕生したのである。

1938年 スーパーマンのコミック原作第1号が、《アクション・コミックス》誌の創刊号に掲載される。

1940年 この年の2月12日、スーパーマンがラジオ・ドラマとなって、初めて放送された(週3回の帯番組)。

1941年 マックスとディヴのフライシャー兄弟により、スーパーマンが漫画映画となる。

1948年 全15篇の連続活劇(シリアル)ものになって、映画館で初めてその勇姿を見せた。製作コロムビア映画。主演カーク・アリン。

1950年 再びコロムビアが全15篇の連続活劇ものとして製作。主演も同じ。

1951年 テレビ版の製作に入る。また、リッパート社という映画会社が「スーパーマンとモグラマン」なる映画を製作。公開する。

1953~57年 スーパーマンのテレビ・シリーズが放映される。全世界的に人気を博し、全部で103話作られる。スリー・シーズンに入った54年からカラー映画として製作されるようになる。

1959年 テレビ版スーパーマンの主演ジョージ・リーブスが6月16日、拳銃自殺する。

1960年 20世紀フォックス社がテレビ版15本を編集し、劇場公開した。

1961年 垂流作品「アドベンチャー・オブ・スーパーボーイ」が登場してくるが、不成功に終わる。

1962年 テレビ・シリーズ「スーパーボーイ」が、ジョニー・ロックウェル主演で13話放映される。

1966年 脚本家ロバート・ベントン、デビッド・ニューマン、レスリー・ニューマンらによるブロードウェイ・ミュージカル「イツ・ア・バード、イツ・ア・プレーン、イツ・ア・スーパーマン」が上演される。このミュージカルが土台になって、映画版が製作されていくことになる。また、テレビ・アニメーションの新シリーズが放映された。

1973年 ワーナー映画がテレビ版のうちのカラー・バージョンから4話を編集し、非公開にオファーした。

1978年 ついに12月15日、全米でクリスマス・リース主演による映画版「スーパーマン」が公開された。

1979年 6月30日、日本で初公開。

1987年 スーパーマン誕生50周年を記念して、シリーズ第4弾「スーパーマン4/最強の敵」が世界公開される。

「もうスーパーマンはやらない」と言っていたC・リーブだが、ついに本作品で復帰した。原作がDCコミックス誌に掲載されてから50周年、リーブ主演で映画化されてからも10周年と、この「スーパーマン4・最強の敵」は記念すべき年に公開される大作である。リーブは今回、ストーリー作りから参加して、米ソ間の核保有による危機を背景に現代の観客がリアリティーを感じられる新しいヒーロー像を作りあげた。いつまでもマンネリ化しない、まさに彼以外では考えられないスーパーマン役である。しかし、この作品が本当に最後だとリーブは語っている。C・リーブはもう二度と見られないのだ!

共演として、ジーン・ハックマンが再びコミカルな悪党で登場、宿敵スーパーマンを倒せとばかり、新たにニューヨーク・マンという超人を作りだした。デylliー・プラネット新聞社のお馴染みの面々、そして新しい編集長にマリエル・ヘミングウェイが顔を出して、面白さもグーンとアップした。

「ロッキーマン」も、なかなか健闘したようだが、なんといってもスーパーマンこそ、永遠のヒーローなのだ。空を見る/鳥だ、飛行機だ/いや、スーパーマンだ/ 待望の「スーパーマン4・最強の敵」が摩天楼の街から飛んでくる。



ニューヨーク・マン

が勝つ道はあるのだろうか。

「ニューヨーク・マンとは?」  
今回、スーパーマンを最大の危機に陥れる「最強の敵」が、ニューヨーク・マンだ。悪の天才レックス・スルースターが、博物館から盗んできた「スーパーマンの髪の毛」をもとに、組織細胞を核・エネルギーの爆発により、太陽・エネルギーとの融合で生命誕生したのが、ニューヨーク・マンだ。彼は、スーパーマンよりも強力なパワーを持ち、頭腦的凶悪さは、レックス・スルースターから受けついでたものである。万里の長城を一撃で爆発し、自由の女神像を持ち上げ、宇宙空間をひとつ飛びする、この強悪な敵に、はたしてスーパーマンが勝つ道はあるのだろうか。

## 宿敵レックス・スルースター 再び登場! 核軍縮問題に取り組む スーパーマンに 新たに仕掛けられた 大きな罠!

「もうスーパーマンはやらない」と言っていたC・リーブだが、ついに本作品で復帰した。原作がDCコミックス誌に掲載されてから50周年、リーブ主演で映画化されてからも10周年と、この「スーパーマン4・最強の敵」は記念すべき年に公開される大作である。リーブは今回、ストーリー作りから参加して、米ソ間の核保有による危機を背景に現代の観客がリアリティーを感じられる新しいヒーロー像を作りあげた。いつまでもマンネリ化しない、まさに彼以外では考えられないスーパーマン役である。しかし、この作品が本当に最後だとリーブは語っている。C・リーブはもう二度と見られないのだ!

◆シリーズ最高・最強の敵! ニュークリア・マンとは? 今回、スーパーマンを最大の危機に陥れる「最強の敵」が、ニューヨーク・マンだ。悪の天才レックス・スルースターが、博物館から盗んできた「スーパーマンの髪の毛」をもとに、組織細胞を核・エネルギーの爆発により、太陽・エネルギーとの融合で生命誕生したのが、ニューヨーク・マンだ。彼は、スーパーマンよりも強力なパワーを持ち、頭腦的凶悪さは、レックス・スルースターから受けついでたものである。万里の長城を一撃で爆発し、自由の女神像を持ち上げ、宇宙空間をひとつ飛びする、この強悪な敵に、はたしてスーパーマンが勝つ道はあるのだろうか。

◆スーパーマンと戦ってきた敵たち! ①「消えたスーパーマン」ガンマー光線を悪用する科学者の手でスーパーマンが透明人間にされる。②「ごせのスーパーマン」スーパーマンをつくりの男が現れ、悪事を働く。③「失った記憶」クリプトン元素の存在を知る科学者がスーパーマンの記憶を消してしまふ。④「尾行されたクラーク」悪漢ではないが、ロイスとジミーに雇われた探偵がクラークの秘密を暴こうとする。⑤「スーパーマンの日」スーパーマンの活躍を祝して記念日が設定された。その日、クリプトン元素を知ったギャング団がスーパーマンを殺そうとする。映画「スーパーマン3」の原型となった傑作。⑥「ジューサーの亡霊」スーパーマンの前にジューサーの亡霊が出現! ⑦「スーパーマン対宇宙人」地球へ不時着した宇宙人を騙し、ギャング団がスーパーマンにぶつける。⑧「ごせの騎士」古い屋敷から現れた中世時代の騎士がスーパーマンに挑む。⑨「スーパーマン対三悪人」クリプトン星から地球に着いた三悪人とスーパーマンが死闘をくり広げる。映画「スーパーマン2」の原型となっている秀作。

★スーパーマン50周年記念超大作! そしてC・リーブがスーパーマンはもう二度と見られない!

正月第一弾! 12月19日(土)より全国松竹洋画系にてロードショー!

特別ご鑑賞券絶賛発売中! 一般1200円・学生1100円(当日一般1500円・学生1300円の処)